

のだめカンタービレ・ ニューイヤール ガラ2025

2025年1月25日(土)

12:45 開場 / 13:30 開演

所沢市民文化センター ミューズ アークホール

茂木大輔(指揮) / 石井琢磨(ピアノ)

Budo(ピアノ) / のだめ祝祭管弦楽団

ベートーヴェン：ピアノ・ソナタ第8番「悲愴」第2楽章 (Pf: Budo)

ラフマニノフ：ピアノ協奏曲第2番 第1楽章 (Pf: Budo)

ガーシュウィン：ラブソディ・イン・ブルー (Pf: 石井琢磨)

R.シュトラウス：「ばらの騎士」組曲

ベートーヴェン：交響曲第7番 第4楽章

S席 前売：¥9,800(税込) / 当日：¥10,500(税込)

A席 前売：¥8,900(税込) / 当日：¥9,500(税込)

未就学児入場不可

主催：株式会社ライブエグザム
公益財団法人所沢市文化振興事業団

制作：株式会社ライブエグザム

協力：講談社



先行発売

最速先行受付：10月13日(日)12:00～10月20日(日)23:59

2次先行：10月23日(水)12:00～10月30日(水)23:59

ミュージックメンバーズ倶楽部

会員先着先行：11月6日(水)12:00～11月16日(土)23:59

先着先行(イープラス)

受付期間：11月17日(日)12:00～11月23日(土)23:59

一般発売

11月30日(土)10:00～イープラス/チケットぴあ

ローソンチケット/楽天チケット

ミュージックチケットカウンター

(TEL. 04-2998-7777) 所沢ミュージック 検索

イベント託児・マザーズ TEL. 0120-788-222 0・1歳 2,000円 / 2歳以上 1,000円

お問い合わせ：公益財団法人所沢市文化振興事業団 <https://www.muse-tokorozawa.or.jp/contact/>



Daisuke Mogi

茂木大輔(指揮)

国立音楽大学、ミュンヘン国立音楽大学大学院修了(オーボエ専攻)。留学したミュンヘンでは、ご当地作曲家であるR・シュトラウスのほぼ全てのオペラを、クライバー、サヴァリッシュなど超一流指揮者の演奏で繰り返し体験した。在欧中にはバンベルク交響楽団、バイエルン放送交響楽団などで首席オーボエ奏者に客演するほか、ヘルムート・リリンクの指揮するバッハ・コレギウムのメンバーとなり、バーンスタイン、ヨッフム、デュトワ、シュタインなど世界的指揮者・メンバーと多数共演。1986年からシュトゥットガルト・フィルハーモニー管弦楽団の第1オーボエ奏者となり、アメリカ、日本、フランス、イタリア、ロシアなど世界各地を演奏旅行。1990年、N響に首席奏者として入団して帰国。以後30年に渡りNHK交響楽団首席オーボエ奏者を務め、2018年、その功績によりN響より「有馬賞」受賞。

1998年からは指揮活動にも取り組み、指揮法を故・岩城宏之および外山雄三、50歳で東京音大指揮科に再入学して広上淳一、田代俊文、三河正典の各氏に師事、自らの企画・構成による解説コンサートや「のだめカンタービレの音楽会」を全国展開。これまで100公演を超え、いずれも高い評価を得ている。

2019年N響を退職して指揮専業となり、現在までに仙台フィル、山響、アンサンブル金沢、群響、東フィル、名フィル、愛知室内、京響、日本センチュリー、広響、九響など全国多数の団体を指揮している。現在、東京音楽大学指揮科講師。

執筆でも知られ、「決定版 オーケストラ楽器別人間学(中公文庫)」「交響録：N響で出会った名指揮者たち」「名曲の曲名(以上音楽之友社)」など10冊を超える著書がある。



Takuma Ishii

石井琢磨(ピアノ)

徳島県鳴門市生まれ。東京藝術大学音楽学部器楽科ピアノ専攻を経てウィーン国立音楽大学ピアノ科に入学、同大学ピアノ科修士課程を満場一致の最優秀で卒業。ポストグラデュアーレコース修了。オーソドックスな古き良きクラシック音楽に主軸を置きながら、「クラシックをより身近に」をコンセプトにした 動画配信も行う新しいタイプのピアニストとして活動している。2016年ジョルジュ・エネスク国際コンクール(ルーマニア・ブカレスト)ピアノ部門第2位受賞。1958年から開催され、ラドウ・ルブーやエリザベス・レオンスカヤなどの世界的ピアニストが覇者として名を連ねる伝統あるコンクール史上、日本人ピアニスト初入賞の快挙。これまでにジョルジュ・エネスクフィルハーモニー、東京都交響楽団、名古屋フィルハーモニー、広島交響楽団、神奈川フィルハーモニー管弦楽団、関西フィルハーモニー、のだめ祝祭管弦楽団等と共演。NHK Classic Fes. 2023「たくさんアンサンブル」にて総合司会を務め、NHK交響楽団アンサンブルメンバーと共演。国内外で演奏活動を行う他、「TAKU-音 TV たくおん」

名義でYoutubeチャンネルを開設。総再生回数は1億回を超え、チャンネル登録者数も28万人を超えて、なお増え続けている。

2ndアルバム「Scene」がオリコン、Amazon、楽天等のクラシック部門にて第1位を独占。そしてポップス、アニソン等も含むオリコン総合部門においてクラシックCDとしては異例の第3位にランクイン。

CD発売記念全国ツアー「Scene」オペラシティコンサートホール東京公演、そしてサントリーホール大ホール追加公演はどちらも発売3分で完売になるなど、今最もチケットが手に入らないピアニストの1人。

ヤマハ「月刊ピアノ」にて「たくおんEssay」連載中。MBSラジオにてメゾン・ド・ミュージック「たくま式ラジオ」のパーソナリティも務めた経験がある。「楽器店大賞2023」ピアニスト部門大賞受賞。第15回とくしま芸術文化奨励賞受賞。

2024年9月4日に3枚目となるアルバム「Diversity」をリリース。



Budo

Budo(ピアノ)

1993年生まれ、3歳よりピアノを始める。桐朋学園大学音楽学部ピアノ科を卒業後単身カナダに渡り、そこで、ストリートピアノとの運命的な出会いを果たす。帰国後、YouTubeにストリートピアノの演奏動画を投稿し始め、「ごきげんよう」から始まる独自の世界観、「怪しい風貌の男」が超絶技巧のクラシック音楽を奏でる動画は数ヶ月で100万回再生を超えた。現在のYouTubeチャンネル登録者数は11万人を突破。2023年ソロコンサートでは浜離宮朝日ホール、紀尾井ホールを完売。2024年6月にはStyle KYOTO管弦楽団とラフマニノフピアノ協奏曲第2番を協演。その他、Summer Piano Junction(東京オペラシティ)、STAND UP! CLASSIC FESTIVAL'23、のだめクラシックコンサート(東京国際フォーラムホールA)、BS11「貴

公子たちの音楽会」、BSフジ「夜な夜なプロジェクト」、BSフジ「モネのように、光に魅せられた風景画家・奥村厚一」、Neo Piano Acoustic(サントリーホール)、のだめカンタービレクラシックフェスティバル in Kyoto(ロームシアター京都)等に出演。ミュージカル「のだめカンタービレ」では劇中ピアノ演奏を務めた。遂に2024年8月、サントリーホールでのリサイタルを完売し、全国ツアーを大成功におさめる。そして11月からは【Budo Classic Winter Wonderland 2024】をBillboard Live YOKOHAMAにて開催を控えており、今後の活躍から益々目が離せない。独自の才能と表現力で新たな旋風を巻き起こし続けている、彼の最新ステージを間近でご堪能あれ。